

# 平成28年度 新幹線鉄道事業本部実行計画

## I. 基本方針

会社発足30年目の本年度も、東海道新幹線における安全・安定輸送の確保を最優先に、脱線・逸脱防止対策の推進をはじめとする地震対策、土木構造物の大規模改修工事、N700Aの投入、各種設備の維持更新、異常気象や自然災害対策等を、関係会社と連帯して着実に推進する。また、関係機関と連携し駅や車内等における更なる安全確保に努める。工事等にあたっては、安全を最優先に愚直にルール及び基本動作を遵守するとともに、勇気をもって注意し合う風土を醸成する。また、お客様のご利用動向を踏まえて、「のぞみ10本ダイヤ」を活用した弾力的な列車設定等に取り組み、さらなる輸送量の増加を目指すとともに、ブランドクオリティサービス運動を引き続き推進するなど一層の進化を追求して、お客様に選ばれる輸送サービスの充実に努める。さらに、最高速度285km/hへのスピードアップによる効果を十分に活かし、異常時等におけるダイヤの安定性の向上を図る。

こうした各種課題を着実に前進させるため、収益力の強化と技術レベルの向上に挑戦し続けるとともに、設備投資を含めた業務執行全般にわたる効率化と低コスト化を徹底し、経営体力の充実を図る。また、これまでに培った力を土台として、業務運営体制の再構築に引き続き取り組む。加えて昨年6月の車内放火事件を踏まえ不測の事態に備えた社員の意識・知識向上教育を実施する。

これら業務の遂行にあたっては、鉄道従事員として自らを厳しく律し完璧な仕事を目指すとともに、各部門が総力を結集して全力で取り組む。また、社員一人ひとりがお客様への感謝を胸に期待に応えるべく自己研鑽に励み、当事者意識をもって各種課題に参画するとともに、管理者・指導者が社員一人ひとりと真剣に向き合い育成を図ることで、明るく、楽しく、前向きに仕事ができる職場環境を構築する。

## II. スローガンと重点目標

「安全」「正確」「快適」「便利」を目指して  
新幹線 Spirit を発揮し  
最高の輸送サービスを提供しよう！

- 安全・安定輸送確保に向けた着実な取り組み
- お客様に選ばれる輸送サービスの充実
- 組織の業務遂行力の向上と低コスト化の推進
- 社員の意識・意欲の向上と技術力の強化
- 健全で良好な労使関係の一層の充実



### Ⅲ. 重点目標と重点施策

#### ○ 安全・安定輸送確保に向けた着実な取組み

- ① 物事の本質を主体的に考え、理解するNT活動等を推進することにより、安全を最優先とするルール及び基本動作の遵守を徹底し、関係会社と一体となって運転事故および労働災害の根絶に取り組む。
- ② 運転事故防止にあたり、作業計画段階で確実に作業内容の検証を行い、実施段階で責任者、作業者の役割を各々自覚した上での実行を徹底する。
- ③ また、重大災害に係る「命を守るルールの遵守徹底」に継続して取り組む。さらに重大労災以外の労災根絶の徹底を図るとともに、作業員一人ひとりの労災防止意識の更なる向上のための取組みを推進する。
- ④ 脱線・逸脱防止対策について敷設工法を開発した無道床橋りょう部や伸縮継目部を対象に加え着実に進める。
- ⑤ 大規模改修工事を不断のコストダウンを重ねながら着実に進める。
- ⑥ 浜松工場の建替・耐震補強等のリニューアル工事を引き続き実施し、新しい検修ラインによる全般検査を開始する。
- ⑦ 台風・局地的集中豪雨・雪などの自然災害対策を深度化し、きめ細かく状況を把握して、遅延時分の短縮に努める。
- ⑧ 冬季米原地区における降雪に伴うダイヤへの影響を最小化すべく、技術開発を進める。
- ⑨ 沿線支障樹木の伐採を継続的に推進する。
- ⑩ 軌道、ATC装置、基幹通信ケーブル、周波数変換装置等の取替、次世代架線の導入を不断のコストダウンを重ねながら計画的に推進する。
- ⑪ 中央新幹線品川駅および名古屋駅の駅部工事にあたり、中央新幹線建設部等と連携して着実に工事を推進する。
- ⑫ 関係機関と連携し駅や車内等における更なる安全確保のためにセキュリティ対策を着実に推進する。
- ⑬ 環境対策を着実に推進する。
- ⑭ 西日本、九州との連携を強化し、一層の安全・安定輸送を確保する。



○ お客様に選ばれる輸送サービスの充実

- ① 「のぞみ10本ダイヤ」等を活用して、お客様のご利用の多い時間帯を中心に、需要にあわせた弾力的な列車設定に引き続き取り組む。
- ② 最高速度285km/hへのスピードアップによる効果を十分に活かし、異常時等におけるダイヤの安定性の向上を図る。
- ③ 引き続きN700Aの投入を進めるとともに、技術開発成果を反映させた新たなN700A(3次車)の投入を開始する。また客室内等に防犯カメラを増設する改造工事に着手する。
- ④ 本年3月に変更した車内改札方法を定着化させ、より快適なサービス提供に努める。
- ⑤ ブランドクオリティサービス運動等の取組みを推進し、東海道新幹線の強みを活かした快適・便利な輸送サービスを強化する。
- ⑥ 品川駅、新横浜駅において可動柵の追加設置工事を進め新横浜駅(下りホーム)の使用を開始する。
- ⑦ 新型の自動改札機および発車標等への取替を順次行い、お客様への案内画面をより分かりやすくするなど、サービス向上を図る。
- ⑧ 社員およびお客様への的確な情報提供等の取組みを推進するとともに、駅および車内における通信環境の充実を図る。
- ⑨ EX会員拡大や観光キャンペーンの展開等による増収施策を引き続き推進する
- ⑩ 外国人のお客様増加に対する社員教育・技術開発などの取組みを推進する
- ⑪ お客様の新幹線利用を促進するためさわやかウォーキングを開催する。
- ⑫ さらなる安全性の向上、輸送サービスの充実に向けて、引き続きX0編成を活用しつつ、次期車両及び設備等において最新の技術を取り入れた開発を推進する。

○ 組織の業務遂行力の向上と低コスト化の推進

- ① 安全の確保を大前提としつつ、現行の業務運営体制における効率化の余地について検証を行い、さらなる効率的な業務運営体制の構築を推進する。
- ② 知識・技術力の向上を図るとともに、業務の組み立ての合理性を徹底的に追求することにより、業務運営全般にわたり低コスト化を深度化する。
- ③ 設備投資について、維持更新投資を含め、一層のコストダウンに取り組み、投資効果を向上させる。
- ④ 車両の新製およびメンテナンスを含めたトータルのコストダウンを推進する。
- ⑤ 脱線・逸脱防止対策や大規模改修工事等の各種施策において、効率的な施工方法を追求し一層の低コスト化に取り組む。



○社員の意識・意欲の向上と技術力の強化

- ① 全社員が日頃から鉄道従事員としての規律規範意識と高い自覚を持ち、行動するよう徹底する。
- ② NT活動の深度化に取り組む。
- ③ ベテラン社員の活用も含めた若手社員への技術力の着実な継承、教育の一層の充実を図り、次代を担う社員を育成する。
- ④ グループ会社と一体となって、技術教育・訓練の推進、管理要員の育成、業務遂行能力向上支援、および優秀な人材の確保等に努める。
- ⑤ 系統毎に統一した知識・技量を把握・向上させる仕組みを導入し、的確な教育を実施する。
- ⑥ 管理者・指導者が社員一人ひとりと真剣に向き合う姿勢を徹底し、新幹線 Spirit の浸透を通じて社員の仕事に対する意識の向上を図るとともに、自己研鑽を奨励することにより、人材のレベルアップに取り組む。
- ⑦ 実践的な訓練等を繰り返し、異常時即応能力の強化を推進する。加えて社員が不測の事態に遭遇した際の避難誘導をはじめとする対応方について、意識・知識向上教育を実施する。
- ⑧ 総合研修センターを活用し、グループ一体として安全やサービスに主眼を置いた教育の一層の充実に取り組む。
- ⑨ 「チャレンジ東海」活動や提案活動を社員の能力向上と職場活性化の重要な取組みとして推進する。
- ⑩ 系統を超えた風通しの良い職場風土を構築する。

○ 健全で良好な労使関係の一層の充実

- ① 「安全」「正確」「快適」「便利」なサービスを提供し続けるためにも、引き続き健全な労使関係の一層の充実に取り組む。